

館報 教育記念館



**第34回
特別支援学校
みんながんばってます
作品展**

**第47回
富山県造形教育作品展**



主な内容

- ◎教育時評 「富山は地震が少ない？」
NPO法人富山県自然保護協会 理事長 菊川 茂 2
- ◎後期恒例展 4
「みんながんばってます作品展」「富山県造形教育作品展」
「教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展」「富山県中学校美術展」
「アイデアロボットフェスタ」「富山県版造形教育作品展 秀作回顧展」
- ◎わが校の歴史から 6
★氷見市立灘浦中学校
- ◎富山県教育記念館「郷土先賢室」顕彰者一覧 7
- ◎「学ぼう！ふるさと未来」支援事業実践活動報告会 8
平成29年度の展示計画 あとがき



発行所／公益財団法人 富山県ひとつくり財団 富山県教育記念館 〒930-0018 富山市千歳町 1-5-1
TEL (076) 444-2000 FAX (076) 444-2001 E-mail: toyama@t-hito.or.jp http://www.t-hito.or.jp
(教育記念館会議室ご利用の場合 ☎(076) 433-2770)
発行人／富山県教育記念館 館長 伏黒 昇 印刷所／いおざき印刷株式会社



富山は地震が少ない？

NPO 法人富山県自然保護協会

理事長 菊川 茂

富山県人には「県内では地震が少ない、起こらない」との思いの強い人が多いようです。確かに富山県内では、ここ数十年、大きな被害をもたらした地震が発生していません。これが富山県で地震が起きない、少ないとの思い込みに繋がっている主な原因のようです。

ところで、昨年（2016）の4月、熊本城の石垣を崩壊したり、阿蘇神社の社殿を倒壊させるなど、大きな被害をもたらした「熊本地震」のことを覚えておられることでしょう。

4月14日突如、熊本から大分にかけての北九州に、震度7の「激震」が連続して発生しました。多くの家屋が倒壊したり、地面の液状化で傾いた体育館や公民館など、マスコミを通じ、その様子を思い起こした方もあると思います。

丁度、現地調査のチャンスがあり、参加しました。そして、熊本は、地震が起きない地域であると教えられ、信じてきたのに、との話をよく聞きました。

さらに、時々地震の発生した地域を訪ねることがあるのですが、その折り、必ずと言っていいほど、「ここは、地震のない地域である」と、信じてきたのに、との嘆き節を聞くことがよくあります。「地元には、地震が起こらない」伝説は、富山県人だけでなく、全国的に言えることのようにです。

安政の飛越地震

ところで、大きな被害をもたらした富山県内の地震を調べると「最近はなかっただけ」で、幾つも知られています。有名なものは「安政の飛越地震」です。

安政5年2月26日（1858年4月9日）午前2時頃、発生した「飛越地震」は「跡津川断層」と呼ばれる断層の活動によって起きた典型的な内陸直下地震でした。地震の規模については、従来マグニチュード7.0～7.1とされてきましたが、近年、被害の分布などをもとに再



崩壊した熊本城石垣



常願寺川右岸にある大転石

検討が行われた結果マグニチュード7.3～7.6の大地震であったことが明らかになりました。

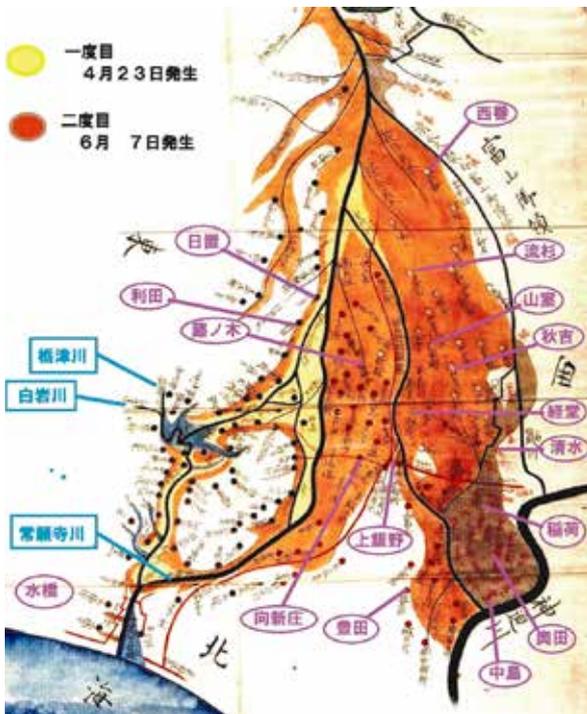
安政5年（1858）、遙かに遠い過去の出来事のようにですが、本年（2017）年から僅か159年前の出来事です。

飛越地震による被害は、越中から飛騨北部にかけて著しく、富山平野では、城下町富山で多くの家屋や土蔵などが被災したほか、各所で地盤の液状化による被害も生じています。

飛越地震の原因である跡津川断層は、山岳地帯を通っているため、山崩れや崖崩れが多発し、各所で崩壊した土砂が、川を堰き止めたり（ダム形成）、道が寸断されるなど、山地災害が顕著となっています。

立山カルデラを取り囲む山並の大鳶山、小鳶山が崩壊しました。現在でもこの崩れ跡が明瞭に残っています。

崩れ落ちた土砂は、立山温泉を埋め、丁度宿泊していた作業員36名が命を落としています。



安政五年常願寺川非常洪水山里変地之模様見取図
＝滑川市立博物館所蔵「岩城家文書」より＝
（ ※ 現地名等 加筆してあります ）

また、地震による崩壊土砂は、湯川や真川を堰き止め「天然ダム」を形成しました。

やがて天然ダムは2週間後の4月23日（旧暦3月10日）及び2ヶ月後6月7日（旧暦4月26日）に決壊、土石流となって富山平野を襲っています。4月の1回目天然ダムの決壊による土石流、及び6月の2回目の天然ダムの決壊による土石流の被害については下記のように纏められています。

倒壊数…2,496棟 死者…140名
被害者数…7350名

また、2回の土石流で流された大きな岩が富山平野に残っており「大転石」と呼ばれています。

土砂によってダムが形成され、やがて決壊され土石流となって富山平野を襲ったことを証拠立てるものです。

また、大鳶山、小鳶山の崩壊によって大量の不安定な土砂が、カルデラの底に崩れ落ち、堆積しています。その土砂量は、流されましたが、まだ2億m³残っており、大雨ごとに富山平野へ土石流となってながれ、常願寺川が暴れ川となって人々を苦しめてきました。その対策として、100年以上も砂防工事が続けられています。

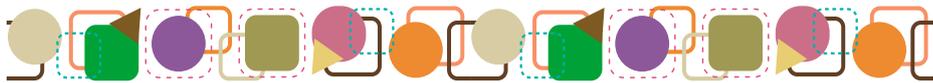
「地震は必ず来る」

地震は短い年月で見ると来る所、来ない所がありますが、長い期間で考えると必ず襲ってきて、止めることは不可能です。

同じ規模の地震でも、被害を少なくすることはできます。防災は可能です。

公助、共助、自助

公、地域、個人が協力して、防災について考え進みたいものです。



後 期 恒

第34回 特別支援学校 みんながんばってます作品展

県内の特別支援学校に通う皆さんの作品248点が一堂に会しました。どの作品も独創性の高いもので、とても見ごたえがありました。



第47回 富山県

幼稚園・保育園・小学校・中学の年代なりの精一杯の表現が輝いて



第32回 教職員厚生会退職厚生部 富山支部会員作品展

今年度も絵画・書画・写真・彫刻など101点の力作が集まり、華やかな作品展となりました。

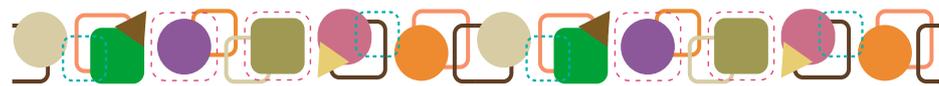


第12回 アイデア

中高生、高専生が製作したロボティクス
チャレンジデーでは、参加者は体験
したり、各校のデモンストレーション



目 例 展



造形教育作品展

小学校・高等学校64校から、それぞれ
の作品を展示していました。



第27回 富山県中学校美術展

県内の中学校から選ばれた199作品を展示しました。
個性豊かに表現された秀作が集まりました。



ロボットフェスタ

ロボットを一同に展示しました。
株式会社不二越の丸山 章先生の講演を聞
き、子どもたちが夢中になったりしました。



第10回 富山県版造形教育作品展 秀作回顧展

平成元年から平成4年までの秀作版画169点を展示しています。版
画特有の力強さや情景豊かな表現力を感じます。





70年の歴史と 伝統の重み

氷見市立灘浦中学校



〈校区の概要〉

校区は、県北西部に位置し、石川県七尾市と隣接している。海や緑豊かな田畑・山間地が広がり、灘浦定置網を中心とした漁業、長坂の棚田や灘浦みかんで有名な農業、温泉旅館等の産業が盛んである。また、富山湾最大の虻が島や大境洞窟等豊かな自然と史跡に富んでいる。

能越自動車道灘浦ICから七尾ICが開通したことから、県外からの旅行者や海水浴客が増加し、特に学校前のコースタル・コミュニティ・ゾーン（CCZ）には夏の期間、県内外から海水浴客が訪れる。

〈学校の概要〉

本校は昭和22年、新しい教育制度の制定に伴う学制改革により、宇波村女良村学校組合立灘浦中学校として設立され、70年目を迎えた。

昭和24年に制定された校章の三つの山形は、校区の宇波・女良地区の協力と、有磯海を隔てて眺める霊峰立山を象徴している。また、それらを結ぶように配した波は、海のように広い知性を養う願いが込められている。

昭和26年木造二階建ての校舎が落成し、昭和62年に現在の校舎が完成、築30年経過した。

その間、地域ぐるみの生徒指導研究委託校や氷見市環境教育研究指定校等、これまでの研究を継続・実践し、現在に至る。

また、かつての科学クラブは日本学生化学賞に4度入賞し、女子バレーボール部が北信越大会3年連続出場（内1回は3位入賞）、野球部や卓球部は県選手権大会に出場するなど、学習面・運動面共にバランスのとれた生徒の育成に力を入れて日々の教育活動に取り組んできた。

近年、少子高齢化の影響で生徒数は激減し、現在、生徒数は29名、3学級の小規模校である。

平成28年度をもって閉校となり、平成29年4月からは隣の北部中学校と統合することになっている。

〈本校の教育〉（特色ある活動）

○朝学習・読書タイムの実施

始業前の10分間には、朝学習（月～水）と読書タイム（木・金）を位置付け、学習内容の充実や基礎的・基本的な知識及び技能の定着と読書への意欲付け、習慣付けに努めている。

○全校生徒で取り組む学校行事

本校は、全校生徒数が29名と少ない。そこで、運動会や学習発表会、卒業を祝う会等においては、縦割りによる活動を実施している。3年生のリーダーを中心とした学校行事は、全校生徒が所属感や連帯感を味わう機会となっている。また、準備や後片付け、企画・運営を生徒の手に委ね、自主性を育てるようにしている。

○ランニングタイムの実施

部活動前のランニングタイム（10分間走）を校時表に位置付け、体力の向上を図るとともに、一人一人に具体的な達成目標（周回数や目標の人について走るなど）をもたせ、継続することの大切さを学ばせるようにしている。運営は、教師の指導の下、生徒会の委員会を中心に生徒が自主的に行うようにしている。また、月1回程度の記録会を行い、取組を評価させている。

○よりよい伝統を受け継ぐ生徒会活動

生徒会では毎年7月上旬に、近くの海岸周辺（CCZ）の環境美化活動と、下旬に虻が島清掃を行っている。この清掃活動は、先輩から受け継がれた伝統であるという誇りや、地域の一員として地域に奉仕することの喜びから意欲的な取組となっている。

○小中連携教育の実施

挨拶運動、環境美化活動等、小中が連携して行う活動を計画的に行っている。また、校区小学校への乗り入れ授業が円滑に実施できるよう、時間割を工夫して、年間を通して連携教育を進め、中一ギャップの解消を図っている。



富山県教育記念館「郷土先賢室」

教育記念館の3階に「郷土先賢室」があります。郷土で生まれ育って、実業や政治、教育、文化、芸術など様々な分野で、郷土や日本の発展に尽くした先賢をしのび顕彰する目的で設けられたものです。教育記念館は昭和52年に建設されましたが、「郷土先賢室」はその当初から企画、開設されたものです。毎年数名づつ、写真や遺品、業績等をまとめて展示紹介してきました。今年度、顕彰者の功績等をまとめた「郷土先賢者顕彰カード(4色刷りA5判のカード)」を配架し、配布しています。どうぞご利用ください。

顕 彰 者 一 覧

回	タ イ ト ル	顕 彰 者	回	タ イ ト ル	顕 彰 者
1	本県の産業の振興に力を尽くした実業家	山田 昌作	71	県政史上初の女性議員	池淵 正
2	伏木港近代化の恩人、本県最初の公立小学校の設立者	藤井 能三	72	広告業の先駆者	瀬木 博尚
3	郷土の興隆に生涯捧げた農政家	麻生 正蔵	73	昭和の赤ひげ	清水 鎮治
4	本県幼児教育の先駆者	亜武真 マーガレット	74	勇助塗りを創案した漆芸家	石井 勇助(2代)
5	入善を愛した作家	柏原 兵三	75	売薬版画の全盛期を築き上げた売薬絵師	尾竹越堂・竹城・国親
6	浄土真宗本願寺派の学僧	高雄 義堅	76	「時計台の鐘」の作曲者 日本映画音楽の草分け	高階 哲夫
7	水力発電のパイオニア	金岡 又左衛門	77	本県の女性解放運動のリーダー	星 かつゑ
8	日本と西洋との文化交流に尽くした先覚者	林 忠正	78	日本の社会教育の先駆者東京音楽学校校長	乗杉 嘉壽
9	「農民の父」と仰がれた農政家	森丘 正唯	79	大日本消防界の先駆者	長谷川 庄蔵
10	富山県僻地教育の功労者	山崎 兵蔵	80	通信事業一筋に生き抜いた官僚	大橋 八郎
11	日中国交回復はじめ国政に尽くした政治家	松村 謙三	81	測量と地図作製に生涯をかけた和算家	石黒 信由
12	浄土真宗本願寺派の学僧・富山大学学長	梅原 真隆	82	農業の父・農政家	大石 斎治
13	北アルプスガイドの花形	宇治 長次郎	83	井波最初の専業彫刻師	田村 与八郎
14	北アルプスガイドの指導者	佐伯 平蔵	84	民俗学的学問の先駆者	大間知 篤三
15	北アルプスの名ガイド	志鷹 光次郎	85	近代俳句の発展に貢献した俳人	後井 竹の門
16	世界的な生化学者、発明家	高峰 謙吉	86	看護界の星	大野 ヨリ
17	民間テレビ放送の創始者	正力 松太郎	87	小作組合を結成した農政家	萩原 正清
18	郷土の生んだ児童文学者	大井 冷光	88	音楽教育一筋に生きた教育者	福井 直秋
19	郷土の生んだ蘭医学者	坪井 信良	89	農業の発展に尽力した勸業僧	数波 浄慧
20	郷土の生んだ国語・国文学者	山田 孝雄	90	近代日本の金融王	安田 善次郎
21	治山治水工事に貢献した実業家	佐藤 助九郎	91	橋梁分野で業界トップに育て上げた実業家	川田 忠雄
22	郷土が生んだ発明家	川原田 政太郎	92	定置網に命をかけた男	酒井 光雄
23	多くの稲の新品種を創り出した理学博士	盛永 俊太郎	93	江戸・明治初期の優れた建築家	清水 喜助
24	通信電話事業の発展に尽くした人	宇田 新太郎	94	異彩を放ち続けた不屈の水墨画家	篁 牛人
25	チューリップ栽培に尽くした篤農家	水野 豊造	95	立山の自然を愛した「トンコ」	佐伯 富雄
26	初等教育に尽力した教育者	山本 宗平	96	事務用品業界で不動の地位を築いた実業家	黒田 善太郎
27	社会問題に関する調査研究の先覚者	横山 源之助	97	芸術文化、能文化の国際交流に尽くした男	本川 藤由
28	人間国宝の陶工	石黒 宗磨	98	火力乾燥機を発明し、富山県産米の改良に貢献した人	金岡 甚三
29	多彩な言論活動を展開した新聞人	井上 江花	99	戦後の富山県看護教育の基礎を築く	牧田 させ
30	本県の自然を愛し詩にした詩人	田中 冬二	100	女性の地位向上に尽くした人	大窪 マスミ
31	裸一貫から巨億の財を築き上げた実業家	大谷 米太郎	101	重要無形文化財保持者となった彫金作家	金森 映井智
32	北海道干拓に力を尽くした実業家	沼田 喜三郎	102	「善の巡環」という経営哲学に基づき、世界的企業を作り上げた実業家	吉田 忠雄
33	本県の高等教育の普及・充実に尽力した教育者	南日 恒太郎	103	縫製技術の近代化を確立した人	安部 清
34	富山県分権独立に力を注いだ政治家	米澤 紋三郎	104	女の人生を描き続けた女流作家	小寺 菊子
35	逓信大臣、国語審議会会長などを務めた政治家	南 弘	105	「民謡おわら」を芸術の域まで高め、今につないだ人	川崎 順二
36	旧制富山高等学校の創設者	馬場 はる	106	現代舞踊の発展に生涯を捧げた人	可西 希代子
37	立山アルペンルートの父	佐伯 宗義	107	呉羽梨の慈父	土池 弥次郎
38	郷土立山を愛した文人	翁 久允	108	教職に就きながら県洋画界の振興に寄与した画家	川辺 外治
39	日本人初のシベリア大陸横断を果たした探検家	嵯峨 寿安	109	保育事業の先駆者	堀田 くに
40	コシヒカリやササニシキの原種の育成者	鉢舩 清香	110	水力発電の実現に青春をかけた人	密田 孝吉
41	郷土の鉄道建設に夢をかけた男	大矢 四郎兵衛	111	富山県書道教育の礎を築いた人	青柳 石城
42	人を愛し、自然を愛した不屈の作曲家	室崎 琴月	112	西陣織の技術改良に尽くした実業家	川島 甚兵衛
43	高岡梵鐘の名声を響かせた鋳物師	老子 次右衛門	113	北陸近代医学・科学の祖	黒川 良安
44	越中のモース	早川 莊作	114	ユーモア小説の直木賞作家	源氏 鶏太
45	焦熱地獄の中で「黒三」建設に夢をかける技術者	今村 常吉	115	人の生きざまを表現した異色の演技派女優	左 幸子
46	近代登山の草分け 山岳随筆家、国文学者	田部 重治	116	シュルレアリスムを追い求めた詩人・美術評論家	瀧口 修造
47	「上野式ブリ大敷網」を完成させた漁業家	上野 八郎右衛門	117	イタイイタイ病研究の父	萩野 昇
48	農村の一大改革をなした篤志家	藤井 十三郎	118	突っ張りで無双を誇った名横綱	太刀山 峰右衛門
49	北陸随一の寺小屋を支えた文武両道の教育者	小西 有義	119	日本的なモダニズムを開花させた建築家	吉田 鉄郎
50	郷土の政治、産業の発展に尽くした政治家	金山 從革	120	畜産業に革命をもたらした家畜人工繁殖研究の先駆者	西川 義正
51	自由民権運動の先駆者	島田 孝之	121	救民の信念で新田開拓に尽くした土木工事の鬼才	権名 権次郎
52	剣岳の大將	佐伯 文蔵	122	優れた先見性と技術革新で地域産業の振興に尽くした実業者	竹平 政太郎
53	日本を代表する生理学者	石川 日出鶴丸	123	万葉の心で暮らしを歌い続けた農政者	五十嵐 篤好
54	未開原野の開墾に尽力した実業家	内野 信一	124	女子医学教育の発展に尽くした医学博士	佐藤 やい
55	教育県富山の基礎を築いた教育者	蛭川 龍夫	125	越中の自由主義思想の先駆者	海内 果
56	文武両道の幕末の剣豪	斎藤 弥九郎	126	黒部の自然が生んだ偉大な芸術家(彫刻家)	佐々木 大樹
57	寺社建築の専門家	松井 角平	127	うまい米づくりにかけた人	杉谷 文之
58	富山県日本画家の先達	郷倉 千鶴	128	富山商人の真骨頂を示した実業家	十五代 中田清兵衛
59	写実主義の極致を学んだ日本画家	石崎 光瑠	129	富山を慕い続けたノンフィクション作家・歌人	辺見 じゅん
60	五箇山地域開発の先駆者・養蚕指導者	水上 善治	130	不屈の精神で世界一の製鉄業を目指し地域振興に尽くした実業家	大谷 竹次郎
61	わが国の産業の発展に尽くした実業家	浅野 総一郎	131	自由民権運動の先覚者	稲垣 示
62	ロマン主義の小説家・演芸評論家	三島 霜川	132	小杉左官の名工(鍍絵)	竹内 源造 ※
63	富山県のお茶の創始者	並木 文右衛門	133	アリアンサ富山村創設の父	松沢 謙二 ※
64	国益と郷土発展に尽くした政治家	上埜 文太郎	134	黒部西瓜の品種改良と流水客土に力を尽くした農業技術者	伊東 森作 ※
65	富山県の中等教育の基礎を築いた政治家	大橋 十右衛門	135	「Nori 10」で世界を食糧危機から救った農学者	稲塚 権次郎 ※
66	水害を克服し、地域の産業の振興に尽くした政治家	浅野 長太郎	136	自由民権運動に女性の地位向上を懸けた先駆的活動家	中川 幸子 ※
67	日本経済の発展、国際交流に貢献した実業家	河合 良成	137	社会から得た利益を社会へ還元「クレジット」の生みの親	青井 忠治 ※
68	稲の品種改良に取り組んだ農業者	石黒 岩次郎			
69	婦人会活動の指導者	東 外枝			
70	相撲界中興の祖(第20代横綱)	梅ヶ谷 藤太郎			

※132～137の6名は現在展示中です。

氷見市立十二町小学校

学ぼうふるさとから、
かがやこう十二町っ子



万尾川の調査

高岡市立万葉小学校

ふるさと万葉の未来を担う子
供の育成
— WE LOVE MANYOU —



社会福祉センターまつり

富山市立小見小学校

地域の人や自然、文化に積極
的に関わり、地域のよさと伝統
を大切にしようとする子供を育
てる



大山歴史民俗資料館見学

砺波市立鷹栖小学校

たかの子としての誇りをも
ち、身近な人々や社会、自然に目
を向け、自ら課題を見付け、自分
らしく追究し、よりよく問題を
解決しようとする子供の育成
—地域との協働の中で—



特養ホーム訪問

富山市立五福小学校

地域の人との関わりを通して
そのよさを知り、五福を愛する
子供を育てる



オクラ栽培見学

あ・と・が・き

88号ができました。
ご多忙の中、館報の執筆に
携わってくださった先生方、
ありがとうございました。
また、館の活動に際し多
くのご教示をいただきました
方々に、感謝申し上げます。



平成29年度の展示計画

- ◆特別展「肖像画で見る郷土の先賢」
- ◆第8回「児童・生徒による ものづくり展」
- ◆第15回「さんすうワールド展」
- ◆第14回「子どもの目・自然不思議発見写真展」
- ◆第33回「教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展」
- ◆第35回「特別支援学校・みんながんばってます作品展」
- ◆第48回「富山県造形教育作品展」
- ◆第13回「アイデアロボットフェスタ」ロボット展
- ◆第28回「富山県中学校美術展」
- ◆第11回「富山県版造形教育作品展・秀作回顧展」

- 4月5日(水)～5月28日(日)
- 6月7日(水)～7月9日(日)
- 7月19日(水)～8月27日(日)
- 9月6日(水)～10月1日(日)
- 10月13日(金)～10月22日(日)
- 10月27日(金)～11月12日(日)
- 11月18日(土)～12月3日(日)
- 12月9日(土)～1月14日(日)
- 1月26日(金)～2月10日(土)
- 2月21日(水)～3月25日(日)